

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
2020年度 第1回定時評議員会議事録

1. 開催日時 2020年6月23日(火) 9時30分から10時35分
2. 開催場所 WEB会議
福井市文京3丁目9番1号
福井大学文京キャンパス総合研究棟V2階コミュニティプラザ
3. 出席者 評議員総数 8名
出席評議員 6名
【コミュニティプラザにて出席】
木村亮(評議員会長), 赤澤孝
【WEB会議にて出席】
酒井美樹男, 内木宏延, 堀照夫, 山本博文
【WEB会議にて出席】
出席理事 細谷龍平(理事長)
【コミュニティプラザにて出席】
陪席者 一葉正樹(福井県総務部大学私学課主事)

4. 議 題

審議事項

- 第1号議案 2019年度事業報告及び決算報告について
第2号議案 理事, 評議員の選任について
第3号議案 グリフィスの訪日150周年事業の現状と展望
第4号議案 2020年度事業計画案及び予算案について
第5号議案 議事録署名人の選出について
その他

5. 定足数の確認

評議員総数8名中6名の出席があり, 定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

審議事項

第1号議案 2019年度事業報告及び決算報告について

事務局から, 2019年度事業報告及び決算報告について説明があった。その後, 監事監査報告書により, 2019事業年度に係る事業報告及び計算書類等は, すべての点において適正に表示されており, また, 当事業年度における財産の状況及び理事の業務執行については, 法令及び定款に違反し, または不当な事項は認められない旨の報告があった。審議の結果, 全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 理事, 評議員の選任について

理事長から, 先の理事会(6月2日開催)で選任された理事候補者について報告があった。報告によると5名の理事から辞任届が提出されたこと及び2名の理事から任期満了のため退任したいとの申し出があり, 児玉康英氏の後任として武部衛氏を, 酒井睦夫氏の後任として大正公丹子氏を, 高比良博則氏の後任として馬來田善資氏を, 田中幸治氏の後任として松田透氏を, 見谷頼貞氏の後任として川上亮介氏を, 橋本明弘氏の後任として鞍谷文保氏を理事候補者として選任し, 任期満了の小谷孝一氏, 黒原繁

夫氏、花島信氏、平塚幹夫氏、細谷龍平氏の5名についても引き続き理事候補者として選任した旨説明があった。また、館清隆氏については任期満了のため退任するとの報告が併せてあった。審議の結果、全員意義なく11名の理事候補者（うち5名は重任）を理事に選任した。

次に、1名の評議員から辞任届が提出されたので、後任の評議員を選任したい旨発言があり、審議の結果、松田健志氏の後任として国久敏弘氏を評議員として選任することを全員意義なく承認した。

第3号議案 グリフィスの訪日150周年事業の現状と展望

理事長から概略以下の通り述べた。

今年度は当基金の設立40周年である以上にグリフィスの訪日・来福150周年という大きな節目を迎えている。この機にグリフィスの名をさらに高めて地域振興に役立て、併せて基金の再興をはかることを目標にこの2年間やってきた。昨年は福井大学図書館の主催（当基金が助成）による県内大学生小論文コンクールを初めて行った他、基金の直営事業を可能とするための定款の変更について県の公益認定委員会の承認を得た上で、グリフィスの半生と功績を紹介するテレビ番組の制作を福井放送に委託し、3月29日の放映後、その映像を概要版とともに基金HPで公開した。福井大学とラトガース大学とは来年をラトガースイヤーとして、文京、松岡両キャンパスで国際交流事業を行う中で本映像も活用する。市立郷土歴史博物館は当基金の助成も得てグリフィス展を実施する。このように多方面で事業を展開することで今年、来年は一定の盛り上がりを作れると考えている。他方、同様以上の盛り上がりは過去にも約50年周期で2度あった。1927年のグリフィスの日本・福井再訪と、1980年前後の地域を挙げた動きである（当基金もその際に設立された）。しかし、その後も日下部・グリフィスの知名度は低下し、人口に膾炙するには至っていない。今回は「3度目の正直」として、特にグリフィスの名がより万人に親しまれるテーマと結びつく形で定着し、福井の地域起こしに真に寄与できるものにしたいとの思いから、たまたまある事実、即ちグリフィスが1871年12月に自分の家（現在のグリフィス記念館）で行ったクリスマス・パーティーがその形のものとしては日本で初めてであったこと（ほぼ検証されている）に着眼した。これをグリフィスの来日・来福150周年記念キャンペーンの一環として150年後にその発祥の地で「福井で見るサンタの夢」と題して再現する。福井大学の授業でも取り上げており、学生の主体的参画も得る。これをその後も年中行事として定着させ新幹線開業を3年後に控えた福井全体の地域振興にも寄与できるものにしていきたい。そのため本事業は当基金に対する各方面からの支援と寄付の増大に繋げられるよう働きかけを行っていく。本年12月には、プレイベントを行う予定。また大学生小論文コンクールは引き続き基金の直営事業として実施する。これに対して、出席評議員全員から支持する旨の発言と、種々の有益な助言があり全員意義なく承認した。

第4号議案 2020年度補正事業計画案及び予算案について

議長から、第3号議案に関連し、今年度の事業計画（案）に、グリフィスが行ったクリスマス・パーティーの再現事業のうちのプレイベントを追加することの説明があった。事務局から、2020年度収支予算書の補正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、全員意義なくこれを承認した。また、2020年5月25日に元本33,000,000円の有価証券（長野県平成21年第2回公債）が満期償還を迎え、利息222,750円を含めて普通預金に33,222,750円が入金された。元本については、理事長と相談の上、一旦定期預金（1年）とし、2021年7月23日に満期償還を迎える元本77,000,000円の有価証券（第100回共同発行市場公募地方債）と合算して、有価証券を購入することとしている旨併せて報告があった。

第5号議案 議事録署名人の選出について

議長から、定款第25条第2項の規定により、本評議員会議事録署名人の選出を求めたところ、全員異議なく、内木宏延評議員及び山本博文評議員の2名を選出した。

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり記名押印する。

2020年6月23日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 評議員 木村 亮 ⑩

議事録署名人 評議員 内木 宏延 ⑩

議事録署名人 評議員 山本 博文 ⑩